

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ぐるぶホームうえつき
日付	平成17年2月7日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院（老人病棟）での看護業務歴 18年 病院での認知症高齢者の看護・介護業務歴 17年
自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

<p>調評</p> <p>全体を通して（特に良いと思われる点など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このグループホームは、中国山脈の風光明媚な環境の中にあり、すぐ裏手には国道が通っています。津山市内、勝間田、日本原方面へは車で15分以内の距離です。 ・建物内部は、日当たりがよく、居室や共有部分はゆったりとしています。内部の色調や飾りつけも落ち着いた雰囲気があります。 ・敷地が広く、戸外では野菜作りやバーベキューなどを楽しむことができます。ペラダも広く、いつでも居間から出て、外の空気に触れることができます。ペラダからはスロープを利用して庭に出ることができます。 ・職員は、穏やかにゆっくと対応をされていますので、入居者の表情も笑顔があり、落ち着いておられます。 ・グループホームで働くことが始めての方もおられますが、働いていて楽しいと感じています。また、ある職員の小学1年生のお子さんは、下校後グループホームで入居者と過ごされることもあります。このように働く方にも柔軟な対応をされていますし、入居者の方も小さい子どもさんとのふれあいを喜ばれています。 ・職員に理容師免許をお持ちの方がおり、入居者の整容に気を遣われていて、ご家族から喜ばれています。 <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの理念についての理解が、漠然としているように感じました。分かりやすく覚えやすい言葉に置き換えて見られるのも、一つの方法ではないでしょうか。 ・日常生活の中で、手芸や家事を通して手先の運動はよくできていますが、下肢筋力をアップするための取り組みが少ないように感じます。外出の機会も含めて、日々の生活の中に取り入れる工夫をされてはいかがでしょうか。 ・広い庭を生かして、入居者が外での活動が楽しめるよう、もう少し整備が必要ではないでしょうか。小石などがそのままなので、車いす等は通りにくく、健康な人も少し歩きにくいように感じます。 ・計画見直しのための会議が、現在まで1度も開かれていません。定期的な開催に向けての取り組みが必要ではないでしょうか。 ・記録類に個性がみられず、内容も具体的でないのので、結果や反応まで含めた記録の書き方を勉強されてはいかがでしょうか。 ・毎日入浴の機会があるにもかかわらず、一人ひとりの入浴回数が少ないです。高齢者の肌は乾燥しやすく、かゆみを訴えられる方もあります。清潔の保持や、観察の意味からも入浴の機会を増やされてはいかがでしょうか。 ・歯磨きのできない方もいますので、インジンのうがい全員に勧められています。しかし、声かけや確認が不十分で、口腔内の観察の機会もありません。また、インジンは消毒薬ですし、購入も個人負担になっていますので、いつも使用する必要はないと思います。緑茶等でも殺菌効果はあると思います。 ・台所のすぐ横にトイレがあります。構造上場所の変更は無理かもしれませんが、においが気になりました。消臭について工夫が必要ではないでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>・このグループホームは、入居者にとって自分の家と同じように安らげる場所であることを目指しています。</p> <p>・お互いに助け合って、できることをしあい、できたことに対してはねぎらいの言葉をかけ、次への意欲につながるような関わりをしていきたいと考えています。</p> <p>・共に暮らしていく中で、できるだけ各自の能力に応じた自立支援をしていきたいと考えています。</p>		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>・自分の家族に接するように、ざっくばらんに付き合っていきたいと考えています。しかし、プライドの高い方もいますので、傷つけないよう、入居者の性格等によってお話の内容を考えて対応しています。</p> <p>・入居者の呼称は、さん付けに統一しています。</p> <p>・職員は、一人ひとりのできること、得意なことをよく把握しており、そのことが生かされるように対応していきたいと考えています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような環境づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>・可能な限り家庭に近い環境の中で入居者が安らげる場所になるようにと考えています。</p> <p>・四季折々の移り変わりを感じていただけるように、食事にも工夫を凝らしています。</p> <p>・職員には理容師の方もおられ、整容に気を配っておられます。今後はお化粧なども取り入れて、楽しませてはいかがでしょうか。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>・他のグループホーム見学したり、情報を得たりして、良いところは取り入れていこうと考えられています。</p> <p>・事故発生を機にお互いに話し合い、再発を防止しようと考えられています。事故報告書がありますが、今後の対策についての検討内容が具体的ではありません。事故原因についての分析が十分でないためと考えます。</p>		